

事前評価個表

整理番号	6
------	---

地域（地区）名	みやぎなんぶ 宮城南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮城県	対象市町村	しろいし 白石市ほか 18 市町村
事業実施期間	R3 年度～R7 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は、県の中南部に位置し、総面積は 278,320ha で県土面積 728,223ha の 38%に当たる。これに対し人口は県全体の 69%となっており、人口の多い仙台都市圏が含まれる地域である。本地域の森林率は 59%と県平均（57%）に比べやや高く、森林面積は 163,414ha で、そのうち民有林は 107,751ha（民有林率：66%）である。民有林のうち本計画の対象となる森林は 107,534ha で、県全体の計画対象森林面積の 38%を占める。針葉樹と広葉樹の面積割合は、針葉樹が 48%、広葉樹が 52%となっており、また人工林率は 47%で、県平均の 53%を下回っている。</p> <p>本地域は、人口の多い仙台都市圏が含まれていることもあり、森林の有する水源涵養機能、土壌保全機能等に配慮した森林整備が必要とされているが、林業の採算性の悪化等により森林整備が十分に実施されず、森林の有する多面的機能の低下が懸念される状況にある。また、本地域の森林は終戦直後や高度経済成長期の伐採跡地に造林されたものが多く、人工林の年齢構成も高齢級に偏りが生じており、本格的な利用期を迎えている。</p> <p>以上を踏まえ、本事業により森林整備と路網整備を一体的に実施することで、施業地の集約化や一貫作業システム等の低コスト施業を促進し、林業の採算性を高めるとともに、森林資源の有効活用及び主伐後の再造林により、多様で健全な森林の造成を図りながら、森林の有する多面的機能の高度発揮を実現する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：1,397ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設 延長 2,500m</p> <p>総事業費：1,241,436 千円（税抜き 1,128,578 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 4.10$</p> <p>（総便益（B）＝ 4,810,124 千円、総費用（C）＝ 1,174,063 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する公益的機能の高度発揮のため、森林施業の効率化等による間伐及び再造林等の森林整備や林道の整備が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び林道の整備により、施業地の集約化や一貫作業システムの導入等が促進され生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備と林道の整備による効率化を推進し、森林資源の有効活用を図るための事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮城県

地域(地区)名：みやぎ 南部宮城南部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <small>かん</small> 便益	洪水防止便益	1,106,905	
	流域貯水便益	192,877	
	水質浄化便益	695,407	
山地保全便益	土砂流出防止便益	701,663	
環境保全便益	炭素固定便益	820,636	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	43,975	
	木材利用増進便益	307,507	
	木材生産確保・増進便益	831,168	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	657	
	森林整備促進便益	109,329	
総 便 益 (B)		4,810,124	
総 費 用 (C)		1,174,063	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,810,124}{1,174,063} = 4.10$		

